エコアクション21
認証番号 0008743

エコアクション21

環境経営レポート

（活動期間：２０２３年４月～２０２４年３月）

第１３期

2023.7 撮影

作成日　２０２４年 ７月 ３日

株式会社 サンテン都市開発

福岡県久留米市荒木町藤田1352－9

SDGs（持続可能な開発目標）私たちも取り組み実施中です。

【 目 次 】

1. 事業概要 P1

1) 事業者名及び代表者名 …… P1

2) 所在地 …… P1

3) 法人設立 …… P1

4) 資本金 …… P1

5) 環境管理責任者及び事務局 …… P1

6) 連絡先 …… P1

7) 事業活動の内容 …… P1

8) 適用事業範囲 …… P1

9) 事業規模 …… P1

10) 許可の内容 …… P2

11) 車両及び重機一覧 …… P3

12) 処理料金 …… P3

13) EA－21推進組織図 …… P3

14) 産業廃棄物処理工程図 …… P4

2. 環 境 経 営 方 針 …… P5

3. 環境への取組み自己チェック …… P6

4. 環 境 経 営 目 標 …… P7

5. 主な環境経営計画 …… P8

6. 環境経営目標の実績とその評価 …… P9～P12

7. 環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容 …… P13

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果
並びに違反,訴訟等の有無 …… P16

9. 代表者による全体評価と見直し・指示 …… P16

1. 事業概要

1)事業者名及び代表者名　　株式会社　サンテン都市開発
代表取締役　五 領 勝 徳

2)所在地　　〒 830-0064
福岡県久留米市荒木町藤田1352-9

3)法人設立　　昭和 62年 4月 9日

4)資本金　　1,000万円

5)環境管理責任者及び事務局　　環境管理統括責任者　：　酒 井 有 明
環境管理事務責任者　：　柿 本 良 治(事務局)

6)連絡先　　TEL　：　0942-26-8800
FAX　：　0942-27-3988
メール　：　santen@pro.odn.ne.jp

7)認証・登録の対象範囲　　当社は全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としています。

8)適用事業範囲

【適用事業場】

本　社　：福岡県久留米市荒木町藤田1352-9
処理施設　：福岡県久留米市荒木町藤田1352-9,21
駐車場及び資材置場　：福岡県久留米市荒木町藤田1360-1,5
(本社ならびに処理施設は同一敷地内、駐車場資材置場は別敷地)

【事業活動の内容】

- 一般廃棄物収集運搬業(事業系一般廃棄物、家庭系一般廃棄物)
- 産業廃棄物収集運搬業
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 産業廃棄物処分業(中間処理: 選別、破砕、圧縮、分離、圧縮梱包)
- 家庭系一般廃棄物(燃やせるごみ)収集運搬委託業

9)事業規模

項 目				2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売 上 高(百万円)				113	120	117	112	118
従 業 員 (人)				22	20	20	20	20
床 面 積 (㎡)				4,310	4,310	4,310	4,310	4,310
収集運搬	一般廃棄物	事業系	家庭系可燃ごみ(t)	5,108	5,266	5,007	4,864	4,882
収集運搬	一般廃棄物	事業系	可燃ごみ(t)	1,155	1,185	1,102	1,139	1,205
収集運搬	一般廃棄物	事業系	資源ごみ(t) ※2	690	589	541	549	564
収集運搬	産業廃棄物(t)			251	649	640	543	608
収集運搬	特別管理産業廃棄物(t)			4	3	4	4	3
収集運搬合計(t)				7,208	7,692	7,294	7,099	7,263
産業廃棄物処理量(t)				837	1,105	1,160	1,043	1,046

※1: ペットボトル
※2:古紙(段ボール、新聞、雑誌類)と、空き缶、空き瓶、ペットボトルの合計

10)許可の内容

【産業廃棄物収集運搬業】

地　区	許可番号	有効期限	取扱い品目
福岡県	04000006588	令和 4年 8月 5日～ 令和11年 8月 4日 優良基準適合	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については、自動車等破砕物を除く。)、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、政令第2条第13号廃棄物(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上20品目 《積替え保管なし》
佐賀県	04103006588	令和 4年 8月10日～ 令和11年 8月 9日 優良基準適合	燃え殻、汚泥、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、鉱さい、動植物性残さ及びがれき類並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。) 以上13品目 (石綿含有産業廃棄物を含む。)《積替え保管なし》

【特別管理産業廃棄物収集運搬業】

地　区	許可番号	有効期限	取扱い品目
久留米市	11260006588	令和 4年 8月 5日～ 令和11年 8月 4日 優良基準適合	感染性産業廃棄物 《積替え保管を含む》 積替え保管面積:10㎡ 保管上限:0.7㎥ 積み上げ高さ:0.9m
福岡県	04050006588	令和 4年 8月 5日～ 令和11年 8月 4日 優良基準適合	感染性産業廃棄物 《積替え保管なし》
佐賀県	04153006588	令和 4年 8月10日～ 令和11年 8月 9日 優良基準適合	感染性産業廃棄物 《積替え保管なし》

【産業廃棄物処分業】

地　区	許可番号	有効期限	取 扱 い 品 目
久留米市	11220006588	令和 5年 9月17日～ 令和12年 9月16日 優良基準適合	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類

【処理施設の内容】　(日:8時間)

施設名	処理能力	処 理 品 目
選別施設	15.1 t/日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 、がれき類
破砕施設	4.4 t/日	ガラスくず等
破砕施設	1.8 t/日	廃プラスチック類
	2.3 t/日	木くず
	1.8 t/日	ゴムくず
圧縮施設	8.0 t/日	金属くず
圧縮施設	2.3 t/日	金属くず
分離施設	1.6 t/日	廃プラスチック類(廃ペットボトルに限る)
圧縮梱包施設	3.9 t/日	廃プラスチック類
	6.4 t/日	紙くず
	7.2 t/日	繊維くず

【一般廃棄物収集運搬業】

地　区	許可番号	有効期限	取扱い品目
久留米市	第1029号	令和 6年 4月 1日 ～令和 8年 3月31日	・事業系一般廃棄物(燃やせるごみ、空カン・空ビン及びペットボトル、感染性一般廃棄物) ・家庭系一般廃棄物(遺品整理・片付け等に伴う一時大量ごみ) 《積替え保管なし》

11）車両及び重機一覧

【車両一覧】

車種	大きさ	台数
パッカー車	4 t	3 台
	3 t	8 台
コンテナ車	4 t	2 台
	2 t	1 台
ユニック車	4 t	1 台
平ボディー車	2 t	1 台
	1.5 t	1 台
保冷車	0.85 t	1 台
軽トラック	0.35 t	1 台

合計 19 台

【重機一覧】

形　状	大きさ	台数
フォークリフト	3 t	1 台
	1.5 t	1 台
油圧ショベル	$0.2m^3$	1 台
	$0.15m^3$	1 台

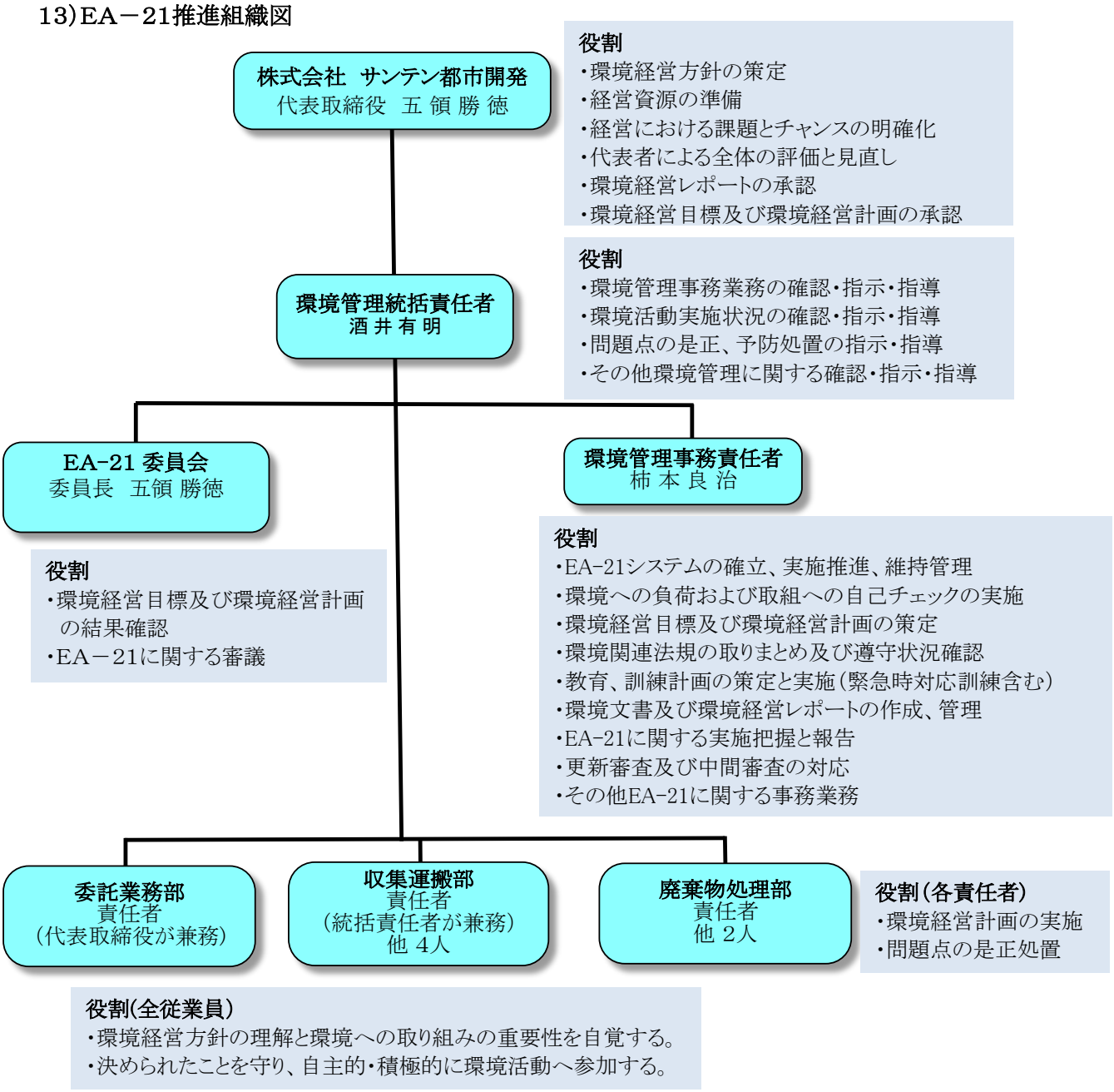
合計 4 台

12）処理料金

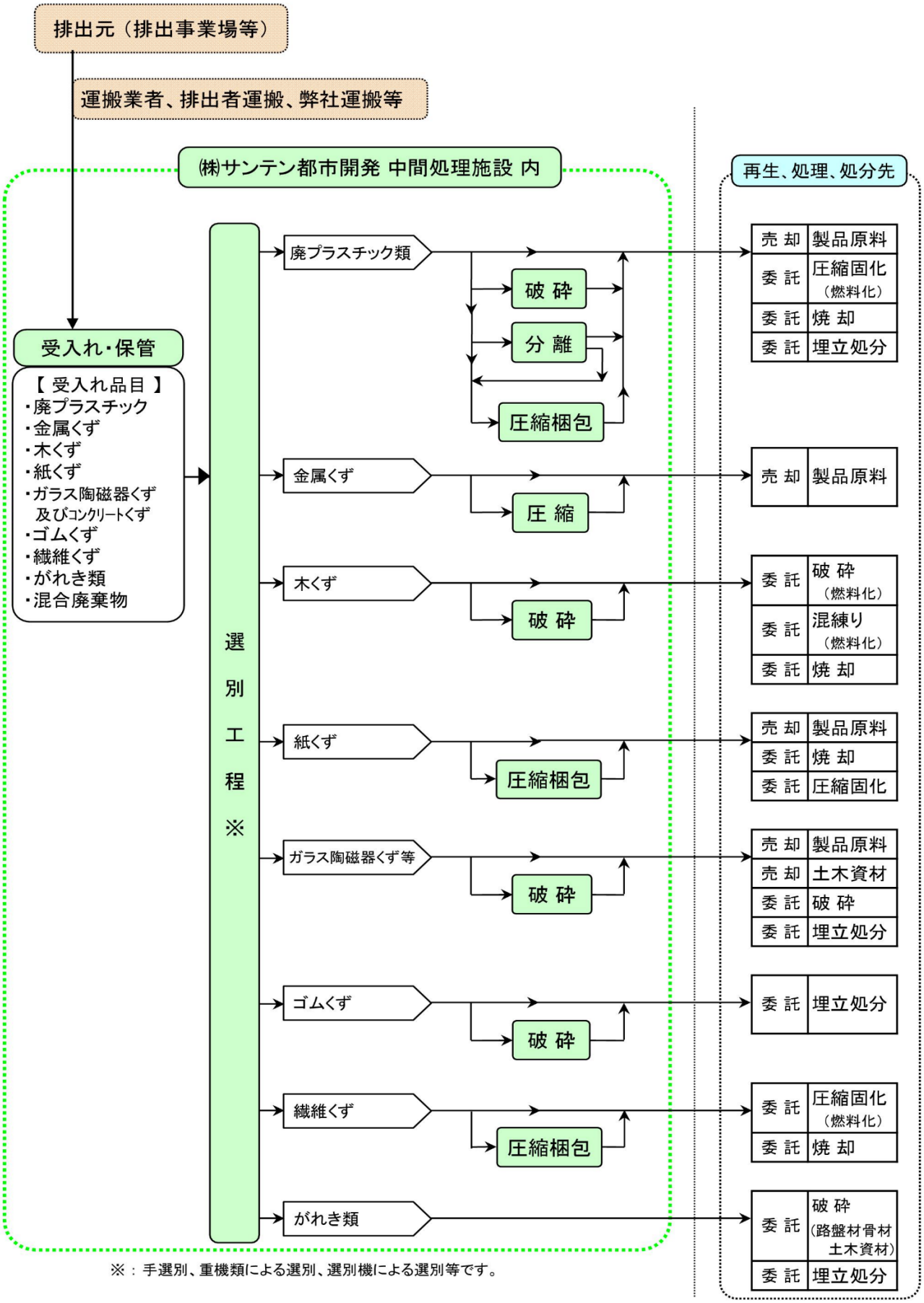
個別契約により見積り設定致しております。

詳しい内容は、弊社までお問合せください。御見積は無料となっております。（℡：0120-26-8800）

13）EA－21推進組織図



14）産業廃棄物処理工程図



環境経営方針

株式会社 サンテン都市開発は、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬及び処分を行ってきました。環境に携わる事業者として、環境負荷をできるだけ削減していくことが事業者としての責務であると考え、以下の方針に従って行動します。

1. 当社は、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬及び処分の事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め環境経営の継続的な改善に努めます。

2. 廃棄物の収集運搬業及び処分業に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。
   (1) 二酸化炭素排出量の削減
      ・収集運搬車の燃料消費量の抑制に伴う、排気ガスの削減
      ・事業活動に伴う電力等の使用量削減
   (2) 廃棄物の削減
      ・受託した産業廃棄物の再資源化によるリサイクル率の向上
      ・事業活動によって生じる廃棄物の削減及びリサイクルの推進
   (3) 作業全般の効率化に伴う水資源の使用量削減
   (4) グリーン購入の推進
   (5) 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
3. 事業活動に関連する環境関連の法規制を遵守します。

この環境経営方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

制定	平成２３年３月１５日
改訂１	平成２４年４月　１日
改訂２	令和　２年４月　１日

株式会社 サンテン都市開発
代表取締役　五領 勝徳

3. 環境への取組み自己チェック

実施日 2024年5月28日

2023年4月～2024年3月までの環境への取組について、自己チェックした結果は以下の通りです。

Ⅰ. 廃棄物処理に関する取組

項　　目		評価点	満点	実施率(%)
1. 廃棄物処理の事業活動に関する項目		107	132	81.1%
	(1) 受託、または受領した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	48	68	70.6%
	(2) 産業廃棄物の処理などにおける環境配慮	59	64	92.2%
	合　計	107	132	81.1%

Ⅱ. その他の環境への取組

項　　目		評価点	満点	実施率(%)
1. 事業活動へのインプットに関する項目		79	94	84.0%
	(1) 省エネルギー	59	68	86.8%
	(2) 省資源	9	12	75.0%
	(3) 水の効率的利用及び日常的な節水	9	12	75.0%
	(4) 化学物質使用量の抑制及び管理	2	2	100.0%
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目		62	64	96.9%
	(1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止	6	8	75.0%
	(2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	42	42	100.0%
	(3) 排水処理	6	6	100.0%
	(4) その他生活環境に係る保全の取組など	8	8	100.0%
3. 製品及びサービスに関する項目		19	22	86.4%
	(1) グリーン購入（環境に配慮した物品などの購入、使用など）	7	10	70.0%
	(2) 製品及びサービスにおける環境配慮	12	12	100.0%
4. その他		28	30	93.3%
	(1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	12	12	100.0%
	(2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	12	14	85.7%
	(3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮	4	4	100.0%
	合　計	188	210	89.5%

4.環境経営目標

中期3カ年計画　2023年度 ～2025年度
(年度は4月～翌年3月とします)

取組み項目		環境経営目標						
		2022年度基準年	2023 年度		2024 年度		2025 年度	
1. 二酸化炭素排出量の削減	総量(kg-CO2/年間)	99,894	原単位基準年比(%)	-0.5%	原単位基準年比(%)	-1.0%	原単位基準年比(%)	-1.5%
	原単位(kg-CO2/収集運搬量+中間処理量)	12.27	12.21		12.15		12.08	
	参考:収集運搬量+中間処理量	8,142 (t)						
① 電気使用量の削減	総量(kWh/年間)	22,885	原単位基準年比(%)	-0.5%	原単位基準年比(%)	-1.0%	原単位基準年比(%)	-1.5%
	原単位(kWh/収集運搬量+中間処理量)	2.81	2.80		2.78		2.77	
② ガソリン使用量の削減		削減目標(%)	基準年比(%)	-0.5%	基準年比(%)	-1.0%	基準年比(%)	-1.5%
	総量(ℓ/年間)	1,427	1,420		1,413		1,406	
燃費の向上		up目標	基準年比(%)	+0.5%	基準年比(%)	+1.0%	基準年比(%)	+1.5%
	km/ℓ	11.66	11.72		11.78		11.83	
③ 軽油使用量の削減	総量(ℓ/年間)	33,924	原単位基準年比(%)	-0.5%	原単位基準年比(%)	-1.0%	原単位基準年比(%)	-1.5%
	原単位(ℓ/全収集運搬+中間処理量)	4.17	4.15		4.12		4.10	
燃費の向上		up目標	2022年度維持		2022年度維持		2022年度維持	
			過去4年間で最高燃費を更新して、限界上値であるため。					
	km/ℓ	5.63	5.63		5.63		5.63	
④重機類稼働合計時間の削減		削減目標(%)	2022年度維持		2022年度維持		2022年度維持	
			過去4年間で最少時間を更新して、限界下値であるため。					
	h/年	672	672		672		672	
⑤ 灯油使用量の削減		削減目標(%)	基準年比(%)	-1.0%	基準年比(%)	-2.0%	基準年比(%)	-3.0%
	ℓ	100	99		98		97	
2. 事業活動に伴う一般廃棄物の削減及びリサイクル率の向上	事業活動に伴うリサイクル量(紙ごみ、カン・ビン・ペットボトル)の全体に占める割合	up目標	up	+0.5	up	+0.5	up	+0.5
	%	59.0	59.5		60.0		60.5	
		一般廃棄物量	基準年比(%)	-0.5%	基準年比(%)	-1.0%	基準年比(%)	-1.5%
	kg	494	492		489		487	
3. 受託産業廃棄物のリサイクル率の向上		廃棄物再生利用率の向上(中間処理の全体に占める再資源化量の割合)	up	+0.5	up	+0.5	up	+0.5
	%	87.0	87.5		88.0		88.5	
4. 水資源使用量の削減及び雨水使用率の向上		雨水使用率	2022年度維持		2022年度維持		2022年度維持	
			過去4年間で最高率を更新して、限界上値であるため。					
	%	24.0	24.0		24.0		24.0	
		水資源総使用量	基準年比(%)	-0.5%	基準年比(%)	-1.0%	基準年比(%)	-1.5%
	m3	679	675		672		669	
5. グリーン商品の購入	品目	20	2022年度維持		2022年度維持		2022年度維持	
6. 環境保全取組実施率の向上	Ⅰ.廃棄物処理に関する取組(%)		up	+0.5	up	+0.5	up	+0.5
	%	78.0	78.5		79.0		79.5	
	Ⅱ.その他の環境への取組(%)		up	+0.5	up	+0.5	up	+0.5
	%	86.2	86.7		87.2		87.7	

備考:購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021年度の九州電力の値(調整後排出係数)0. 385kg-CO2/kWhを使用してい

備考:環境保全取組実施率の向上は、「環境への取組の自己チェック」を毎年実施して確認します。

5. 主な環境経営計画

No.	環境経営目標 （基準年度は、2022年度とします）	実施事項	実施部署 事務局	委託部	運搬部	処理部
1	①電気使用量の削減（CO2の削減） ≪全体目標≫ 2022年度原単位(*)での 電気使用量削減(-0.5%) (*)原単位 kWh/(収集運搬量+中間処理量)	① 未使用時の電気消灯の実施	○	○	○	○
		② 事務所・休憩所の空調温度管理	○	○	○	○
		③ 節電シール等の設置	○			
		④ エアコンフィルターの清掃	○	○	○	○
		⑤ 節電型照明への入替実施	○			
		⑥ 節電型OA機器への導入検討・実施	○			
	②ガソリン使用量の削減（CO2の削減） ≪全体目標≫ 基準年度より 0.5%削減 燃費の向上 ≪全体目標≫ 基準年度より 0.5%ｱｯﾌﾟ	① 効率の良い配車スケジュールの検討実施	○	○	○	
		② 燃料使用量と走行距離のチェック	○			
		③ エコドライブの説明	○			
		④ エコドライブの実施	○	○	○	○
	③軽油使用量の削減（CO2の削減） ≪全体目標≫ 2022年度原単位(*2)での 軽油使用量削減(-0.5%) (*2)原単位 ℓ/(収集運搬量+中間処理量) 燃費の向上 ≪全体目標≫ 基準年度維持	⑤ 日常点検・定期点検の実施		○	○	○
		⑥ 重機類の効率的使用				○
		⑦ アイドリングSTOPの実施	○	○	○	○
		⑧ ファンヒーター設定温度管理（灯油）	○			
		⑨ ファンヒーターの足元付近への設置（灯油	○			
	④重機類稼働合計時間の削減 ≪全体目標≫ 基準年度維持	⑩ 供給電力状況の確認(灯油)	○			
		⑪ 低燃費・低公害型車両導入の検討	○			
	⑤ 灯油使用量の削減 ≪全体目標≫ 基準年度より 1.0%削減					
2	事業活動に伴う一般廃棄物の削減 及びリサイクル率の向上 ≪全体目標≫ リサイクル率 基準年度より 0.5%ｱｯﾌﾟ 一般廃棄物 基準年度より 0.5%削減	① ゴミ分別の実施と徹底	○	○	○	○
		② FAXのパソコン受信	○			
		③ 裏紙利用の実施	○			
		④ 出力・記入ミスの防止	○			
		⑤ 排出量、リサイクル率の集計、掲示	○			
3	受託廃棄物のリサイクル率の向上 ≪全体目標≫ リサイクル率 基準年度より 0.5%ｱｯﾌﾟ	① 収集運搬時の分別収集の徹底			○	
		② 廃棄物の選別の実施と徹底				○
		③ 種類ごとに再生利用ルートの確認	○			
		④ 処理量、リサイクル率の集計、掲示	○			
4	水資源使用量の削減 及び 雨水使用率の向上 ≪全体目標≫ 雨水使用率 基準年度維持 使用量 基準年度より 0.5%削減	① 車両の効率よい洗車		○	○	
		② 節水シール等の表示	○			
		③ 手洗い時の節水の徹底	○	○	○	○
		④ 土間清掃の効率化				○
		⑤ 洗濯時のむだ水抑制	○	○	○	○
		⑥ 洗濯時のゆすぎ水の有効利用	○	○	○	○
		⑦ 有効的な散水及び雨水の優先使用	○			○
		⑧ 雨水使用量の把握	○			
5	グリーン商品の購入 基準年度維持	① グリーン商品の把握	○			
		② 購入の実施	○			
6	環境保全取組実施率の向上 基準年度より 0.5%ｱｯﾌﾟ ※別表 Ⅰ.廃棄物処理に関する取組 Ⅱ.その他の環境への取組 以上の環境への取組の自己チェックリストにより確認する。	① 環境教育の実施	○			
		② 事業所周辺の清掃	○	○	○	○
		③ 取組み状況確認	○			
		④ 防災訓練	○	○	○	○

6. 環境経営目標の実績とその評価

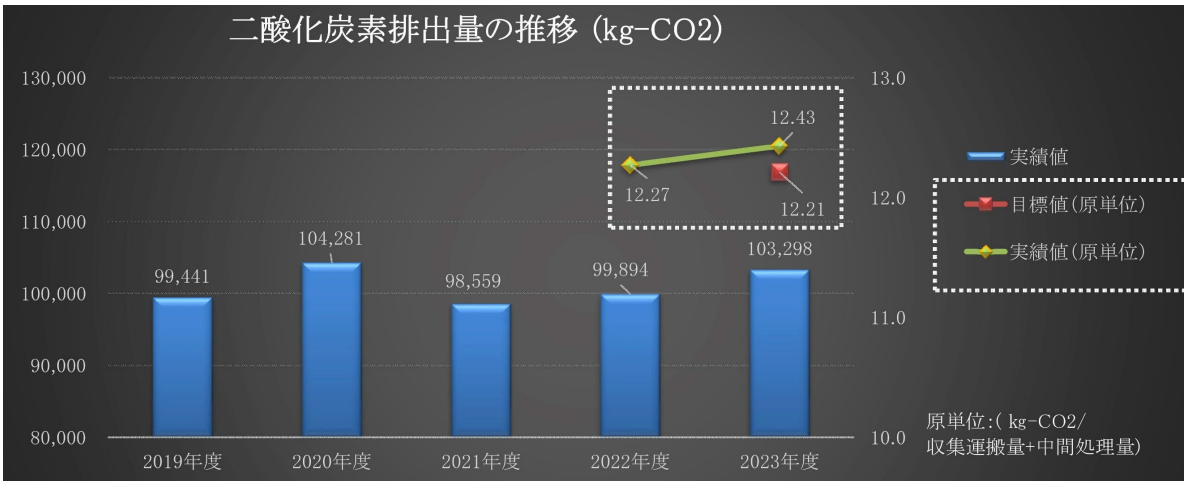
6－1 二酸化炭素排出量

活動期間　2023年4月 ～ 2024年3月

環境目標項目	2022年度 基準値	2023年度 目標値	2023年度 実績値	達成率 (%)	活動結果
1. 二酸化炭素排出量 原単位：(kg-CO2/ 収集運搬量+中間処理量)	12.27	12.21 (0.5%削減)	12.43	98%	○
総排出量(kg-CO2) (*参考値)	(99,894)		(103,298)		
1. 電気使用量 原単位：(総電気使用量kWh/ 収集運搬量+中間処理量)	2.81	2.80 (0.5%削減)	2.60	107%	○
総電気使用量(kWh) (*参考値)	(22,885)		(21,617)		
2. 燃料使用量　ガソリン (ℓ)	1,427	1,420 (0.5%削減)	1,391	102%	○
燃費 (km/ℓ)	11.66	11.72 (0.5%up)	11.81	100%	○
軽油(ℓ) 原単位:(軽油使用量ℓ / 収集運搬量+中間処理量)	4.17	4.15 (0.5%削減)	4.27	97%	○
軽油総使用量(ℓ) (*参考値)	(33,924)		(35,480)		
燃費 (km/ℓ)	5.63	5.63 (基準年維持)	5.49	97%	○
重機類稼働合計 時間(h/年)	672	672 (基準年維持)	697	96%	○
灯油 (ℓ)	100	99 (1.0%削減)	85	117%	◎

達成率 85% 未満･･･✕　達成率 85% 以上･･･△　達成率 95% 以上･･･○　達成率 110% 以上･･･◎
削減目標達成率＝目標値/実績値、改善目標達成率＝実績値/目標値
(補足1) 購入電力の二酸化炭素基礎排出係数は、2021年度の九州電力の値(調整後排出係数)0. 385kg-CO2/kWh を使用しています。
(補足2) 収集運搬料+中間処理量＝8,309t
(補足3) 軽油車の全走行距離は189,564km　使用軽油量は34551ℓ　重機は除外しています。
(補足4) ガソリン車の全走行距離は10,949km　使用ガソリン量は927ℓ　重機は除外しています。

● 二酸化炭素排出量(kg-CO2)の推移状況

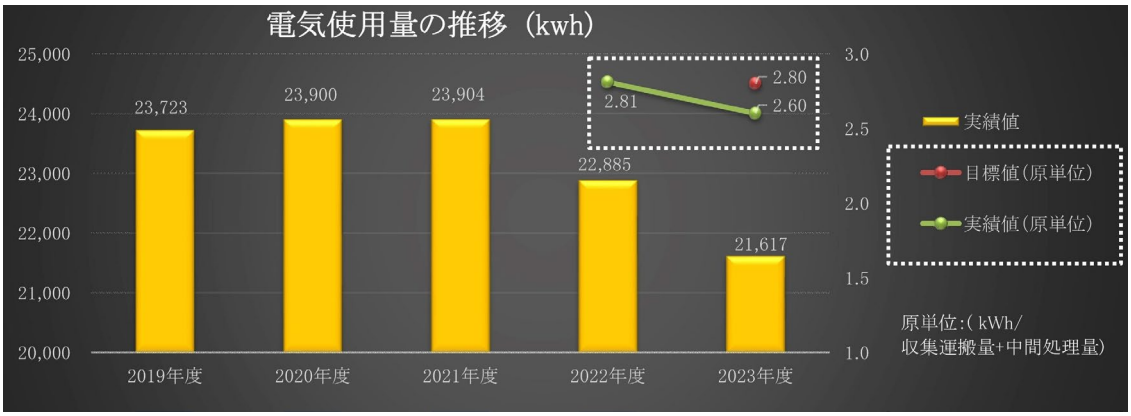


(補足) 購入電力の二酸化炭素基礎排出係数は、2019年度～2021年度は0. 347kg-CO2/kWh(調整後排出係数)を使用。
2022年度～2023年度は0. 385kg-CO2/kWh(調整後排出係数)を使用し、2017GLによる計算式での
二酸化炭素排出量を算出しました。

取組結果

二酸化炭素総排出量(kg-CO2)は前年よりも多くなりました。原単位による比較でも目標を超えた排出量となり残念な結果となりました。

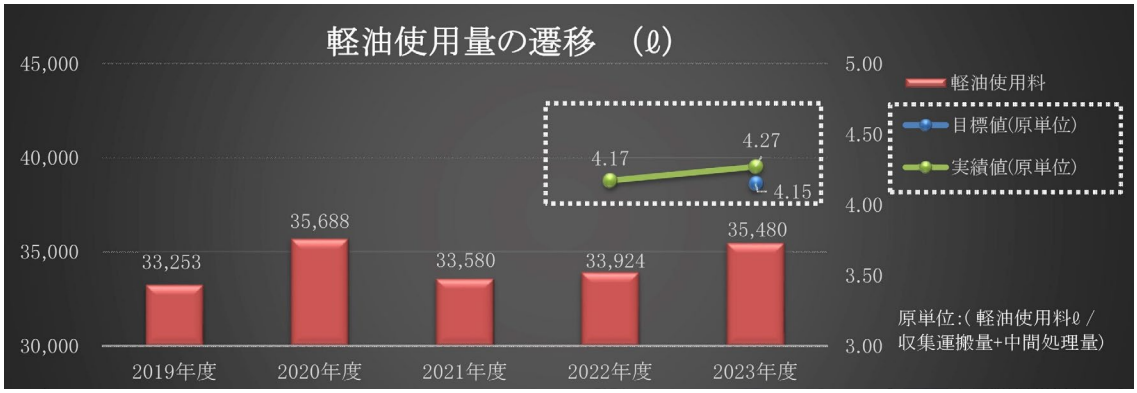
● 電気使用量(kWh)の推移状況



取組結果

電気使用量(kWh)は前年より大幅に削減できました。原単位による比較でも目標値を下回る結果となりました。

● 軽油使用量(ℓ)の推移状況



取組結果

軽油使用量(ℓ)は前年より増加となりました。原単位による比較でも目標値を超える結果となりました。

弊社も消費燃料、消費電力の削減に取り組んでいます。

6－2 廃棄物

活動期間　2023年4月 ～ 2024年3月

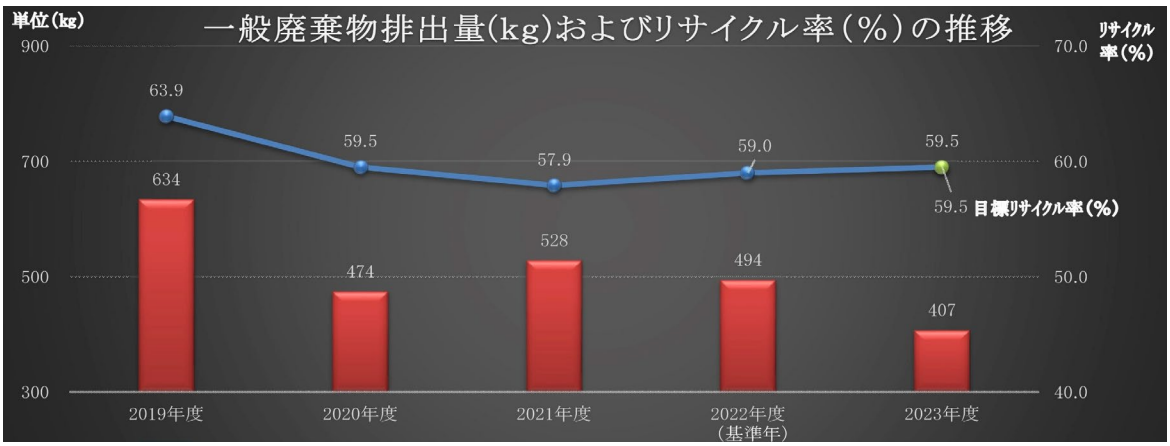
環境目標項目	2022年度 基準値	2023年度 目標値	2023年度 実績値	達成率 (%)	活動結果
2. 一般廃棄物の削減及びリサイクル率の向上(注)					
2－1. 一般廃棄物排出量(kg)	494	492 (0.5%削減)	407	120%	◎
2－2. リサイクル率	59.0%	59.5% (0.5%up)	59.5%	100%	○
3. 産業廃棄物リサイクル率の向上	87.0%	87.5% (0.5%up)	85.3%	97%	○

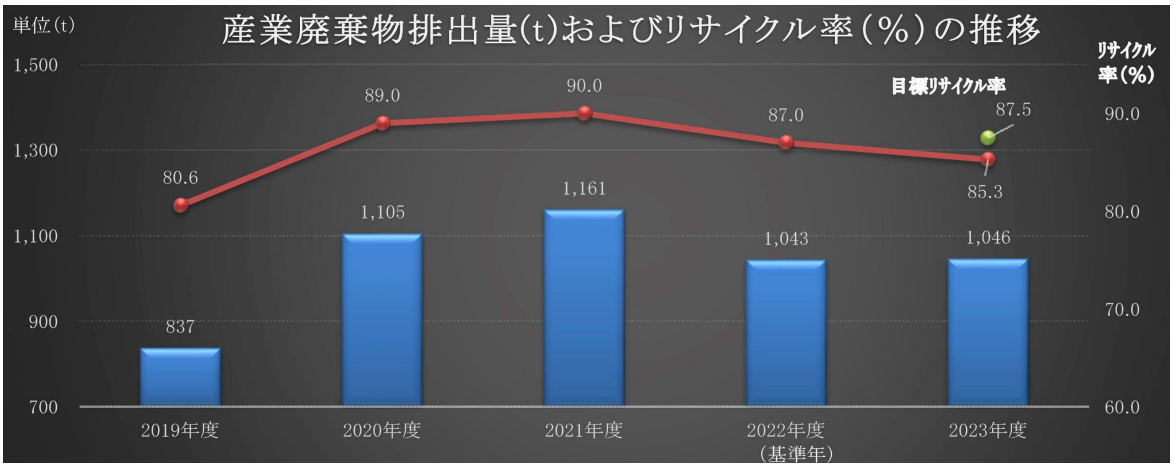
(注)ここでの一般廃棄物は、事業活動において排出された可燃ごみ、紙くず、缶瓶ペットボトル、プラスチック類を対象としています。

達成率 85% 未満･･･× 達成率 85% 以上･･･△ 達成率 95% 以上･･･○ 達成率 110% 以上･･･◎

改善目標達成率＝実績値/目標値

● 一般廃棄物のリサイクル率(%)および産業廃棄物のリサイクル率(%)の推移





取組結果

事業活動にて発生した一般廃棄物排出量はかなり抑えられたと想います。リサイクル率も目標通りの結果となりました。

産業廃棄物については、目標リサイクル率をわずかながら下回る結果となりました。

地球に優しいリサイクルを目指しています。

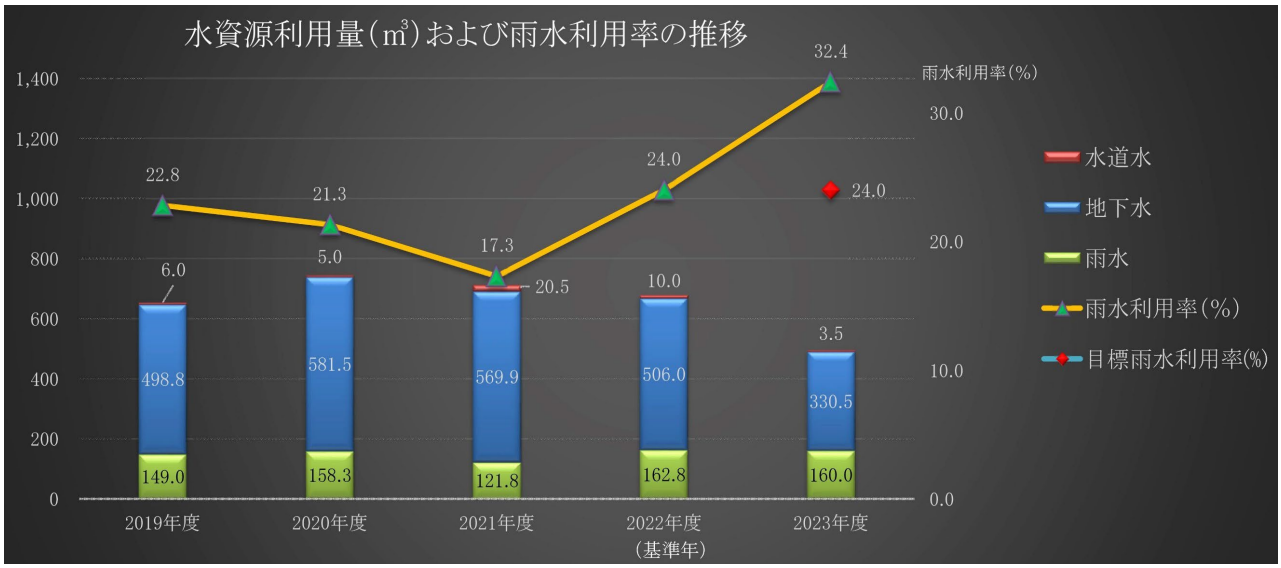
6－3 水資源、取り組み関係

活動期間　2023年4月 ～ 2024年3月

環境目標項目		2022年度 基準値	2023年度 目標値	2023年度 実績値	達成率 (%)	活動結果
4. 水資源	使用量(㎥)	679	675 (0.5%削減)	490	136%	◎
	雨水利用率	24.0%	24.0% (基準年維持)	32.4%	135%	◎
5. グリーン商品購入		20品目	20品目以上	18品目	90%	△

達成率 85% 未満･･･×　達成率 85% 以上･･･△　達成率 95% 以上･･･○　達成率 110% 以上･･･◎
削減目標達成率＝目標値/実績値、改善目標達成率＝実績値/目標値

● 水資源使用量(㎥)および 雨水利用率(%)の推移



洗車用雨水タンク

散水用雨水タンク

取組結果
例年よりも降水量が多くなり雨水による洗車と散水が増えました。
雨水使用率のアップおよび地下水使用量の削減が達成できました。

雨水を利用して地下水使用の削減に取り組んでいます。

7. 環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営目標	結果	評価と次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	○	目標を達成できなかった取組もあるが、ほぼ100%に近い達成率で結果的に目標達成ができた。さらに上を目指す。
電気使用量の削減	○	破砕機など効率よく稼働でき達成できた。次年度も継続する。
ガソリン使用量の削減	○	目標達成。次年度も継続。
ガソリン(燃費)の向上	○	前年度より燃費向上が出来ている。次年度継続。
軽油使用量の削減	○	前年度と変わらず良い結果だと思う。次年度も継続、目標達成を目指す。
軽油(燃費)の向上	○	目標には届かなかったが、継続活動。
重機類稼働合計時間の削減	○	効率よく使用できている。次年度も活動を継続する。
灯油使用量の削減	◎	目標達成。次年度も続けて目標目指す。
一般廃棄物の削減(*1)及びリサイクル率の向上(*2)	(*1)◎ (*2)○	リサイクルの意識が高まり活動できていると想う。次年度も活動継続。
受託産業廃棄物のリサイクル率の向上	○	一般廃棄物同様意識し活動できている。活動継続。
水資源使用量の削減(*1)及び雨水使用率の向上(*2)	(*1)◎ (*2)◎	夏場の散水洗車など意識工夫して活動できたと思う。活動継続、
グリーン商品の購入	△	目標達成できていないが、必要なものはグリーン商品を購入している。継続する。
環境保全取組実施率の向上	○	滑動できていると思う。次年度も継続。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

環 境 関 連 法 規	要 求 事 項	厳守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理	適合
	委託基準	適合
	保管基準	適合
	契約基準	適合
	管理票(マニフェスト票)の交付、保管期間	適合
	管理台帳の記載、保管期間	適合
	実績報告書の提出	適合
	交付状況報告書の提出	適合
	不法投棄、焼却の禁止	適合
騒音規制法	特定施設の設置の届出	適合
	規制基準の厳守	適合
振動規制法	特定施設の設置の届出	適合
	規制基準の厳守	適合
水質汚濁防止法	特定施設の届出	該当なし
	規制基準の厳守	適合
道路交通法、道路法 道路運送車両法	規制基準の厳守	適合
家電リサイクル法	特定家電品の再資源化業者へ	適合
自動車リサイクル法	規制基準の厳守	適合
消防法(危険物)	規制基準の厳守	適合

当事業所に適用される主要な環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

2024年5月12日

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

今年度は、夏の集中豪雨による被災廃棄物の運搬業務が通常業務とは別に2ヶ月間続きました。この業務が年間の軽油使用量を増加させた要因と思います。ただ、原単位では目標を達成できていますのでこのまま原単位での管理を行っていきます。

また、電気使用量では、大幅に目標を達成できています。このまま計画通り活動を継続します。

廃棄物関係では、目標を達成しており、今後も再資源化を意識し活動を継続いていきたいと思います。

水資源においては、雨水の使用を積極的に行い目標を達成しています。降雨量に影響されると思いますが、今後もこのまま継続していきます。

グリーン商品購入では、目標を達成できませんでしたが、今後も物品購入の際は意識して購入するようにします。

株式会社 サンテン都市開発
代表取締役　五領 勝徳